

# 中央図書館学校図書館支援センター通信 No.17

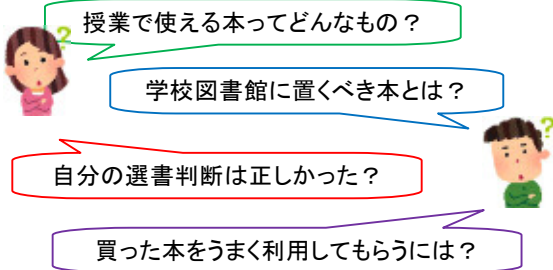


平成 28 年 3 月 中央図書館学校図書館支援センター発行  
〒950-0084 新潟市中央区明石 2-1-10  
TEL 025-246-7700 FAX 025-246-7722  
E-mail chuo.cl@city.niigata.lg.jp  
担当区：東区・中央区

平成 27 年度第 2 回

## 東区・中央区学校司書実務研修「資料購入の工夫」

2月8日(月)開催



学校図書館でどのような資料を購入するかは、経験を積んだ司書であっても判断が難しい作業です。蔵書構成を把握したうえで、各教科等の学習に役立つ資料、児童生徒の読書力や興味関心に合う絵本・読み物を選ぶ必要があります。

今回の研修は、3人の学校司書の実践発表を通して、自身の業務を振り返り新たな取組の参考になるよう計画しました。また、『新潟市学校図書館実務マニュアル』に収録している「選書参考資料」の一覧から、ブックリストや情報誌を紹介しました。実践発表の質疑応答では多くの質問や感想が集まり、3人～4人に分かれて行った交流の時間でも、活発な情報交換が行われ、充実した時間を過ごすことができました。

よりよい資料を収集するには、多くの人目（意見）が必要です。児童生徒や職員の皆さんが「学校図書館の本」について語り合うことで、豊かな蔵書を構築できます。

### 実践発表の様子

	<b>山潟中学校 石倉綾子司書</b> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 生徒・教員から購入希望を聞き取り、きめ細やかな対応に努めている。</li><li>◆ 利用される図書館を目指した多様な実践に取り組んでいる。</li></ul>
	<b>沼垂小学校 新野美奈子司書</b> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 購入図書決定までの過程を紹介</li><li>◆ 多岐に渡る情報源から出版状況を把握し、選書の際は現物確認を大事にしている。</li></ul>
	<b>牡丹山小学校 田村あづさ司書</b> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ より楽しい読書体験、より使いやすい図書館づくりを目指している。</li><li>◆ 子どもに本を手渡す大人として大切にしたい考え方を紹介</li></ul>



付箋を使って、参加者から質問・感想を集め、発表者から一問一答形式で答えてもらいました。



互いの悩みに共感しながら、解決のヒントを話し合いました。

# 寄稿 学校図書館への期待

中央図書館学校図書館支援センター運営協議会では、平成27年度から、東区・中央区の教育支援

## 「攻めの読書」への期待

東区教育支援センター 指導主事 田中和昭



学校図書館関係者の努力により、学習・情報センターとしての充実が図られている。訪問校においても、教科書コーナーの設置や並行読書、団体貸出やオレンジBOXの活用など、多くの資料を基に深まりや広がりのある学習が展開され、効果を上げている。

一方、読書センターとしてはどうだろうか。各学校では、読書案内で「子どもが読みたい本」に出合えるよう紹介をしている。しかし、対象（学年や学級）が広いために、結局は「読みたい本」を自由に見つけて読む「お任せ読書」になっていることもあるのではないか。

私は、子どもたちに読書力を付けるためには、一人一人の読書経験を踏まえて、「その子どもに読ませたい本」を読ませる手だてを工夫していく必要があると考えている。幸い、学校図書館には子どもたちが借りた本のデータが蓄積されている。その個々のデータ（ジャンルやレベル、興味など）を担当や司書教諭、学校司書が分析、検討し、「その子どもに読ませたい本」を薦める取組を積極的に行いたい。これは、読書後における子どもの変容を確認する方法の工夫を伴う取組でもある。

「子どもが読みたい本」から「その子どもに読ませたい本」へ。これを「攻めの読書」と勝手に名前を付けている。



### 《 学校図書館支援センターからの提案 》

子どもと本を結ぶ有効な手立てとして、読み聞かせのほかに、ブックトークがあります。児童生徒に直接語りかけて、本のおもしろさを伝えます。

#### ブックトークとは

テーマを設け、関連する複数の本を順序よく紹介し、児童生徒の本への興味や関心を広げ深める。本の魅力、奥深さや豊かさを伝えて、聞き手にその本を読んでもらうことが目的。普段なかなか手に取られない本、広く様々な分野の本を読んでもらうきっかけにもなる。学級単位などの集団を対象にするほか、個別対応として、書架を巡りながら目の前の子どもに合わせた1、2冊の本を簡単に紹介する場合もある。

授業の中で、単元の導入や内容の発展にも活用できるとして、小学校だけでなく中学校でも実践が広がっています。取り組む際には、実施可能かどうか、準備期間はどれくらい必要かなど、授業者と学校司書との事前打ち合わせが必要です。

センター指導主事に委員として参加していただいています。

学校訪問を通じて感じたこと、学校図書館活用推進のためのアドバイスなど、これからの学校図書館運営に向けてメッセージをいただきました。



## ウェルカム参観日を学校図書館のチャンスにしよう

中央区教育支援センター 指導主事 森 正司

「この学校の図書館には、素敵なコーナーがあるんですよ。新潟市の小学校で使っている国語の教科書、そこに載っている物語に新美南吉の『ごんぎつね』があります。その挿絵に黒井健さんの作品が使われています。ここに、その黒井健コーナーがあるんです。」

「まあ明るい。それに楽しそう。小学校の図書館は、こんなにきれいなんですか。子どもが喜びそうですね。」

「学校司書が配置されていますし、みんな頑張っていますから。さあ、これが『ごんぎつね』の絵本です。」

「黒井健さんの本がきれいに展示されていますね。ほんのりとした優しい絵ですね。こんなきれいな挿絵、今はこれが教科書に載っているんですか。」

これは、ある小学校のウェルカム参観日にお出でくださった教育委員さんとの会話である。昨年度から始まったこの参観日は、学校を広く校区民や市民に公開し、学校の取組を理解してもらおうというもの。その大切な日に、学校図書館が閉まっている。あるいは学校司書が不在。こんなことがあってはならない。訪れた人々に学校図書館の機能と学校司書の役割とを理解してもらえるチャンスである。誰からも見てもらえる、誰もが入りたくなる図書館づくりをして、ウェルカム参観日を迎えよう。



### 《 学校図書館支援センターからの提案 》

地域に開かれた学校図書館の取組例として、学校のホームページに日々の様子を掲載しているケースもあります。話題として取り上げられる事例を、いくつかご紹介します。

- ◆ 朝読書をしている児童生徒の様子
- ◆ 図書館で調べ学習をしている授業風景
- ◆ 図書委員会の活動
- ◆ 読書週間のイベントの様子
- ◆ 長期休業前の貸出のために混雑している館内
- ◆ 図書館内で行っているテーマに沿った図書の展示
- ◆ 図書館ボランティアの活動（読み聞かせ、修理、掲示、書架整理等） など



校内の職員から見ると何気なく当たり前で過ごしている毎日も、目線を変えてみると、新鮮な話題として広く発信できます。



## 平成27年度 東区・中央区の学校団体貸出

年々、学校から団体貸出を依頼される件数が増加しています。依頼内容も学校全体で取り組む読書活動に大量の資料が必要だったり、授業者と学校司書が打合せを重ねる中で資料の追加や交換を求められたりするようになりました。また、資料提供が複数の学年で重なり、特別貸出で対応することもあります。資料を生かした様々な活動の様子が伺えます。



### 事例1（小学校）

#### ・依頼内容

6年生が1年生に読み聞かせをします。1年生が楽しめる絵本を、6年生の児童数分140冊必要です。

#### 〈支援センターの対応〉

市立図書館発行のブックリスト「たのしい絵本その2、その3（3歳以上）」、「この本、おすすめ！その1（低学年向け）」で紹介している絵本を貸し出しました。

### 事例2（中学校）

#### ・依頼内容

3年国語で“読書へのアニメーション”を行います。『クルマわりとネズミの王さま』（ホフマン/作 上田真而子/訳 岩波書店）が28冊必要です。

#### 〈支援センターの対応〉

市立図書館の蔵書が希望冊数に満たなかったため、他校からの借り受けも提案しました。市立図書館からは14冊を貸し出しました。

### 事例3（中学校）

#### ・依頼内容

1年社会でEUについて学習します。加盟国の貿易額・国土面積・民族・言語などの情報を得られる資料と、加盟以前の通貨が分かる資料として1998年以前の『ジュニア朝日年鑑』（朝日新聞社）が必要です。

#### 〈支援センターの対応〉

市立図書館の蔵書から該当する資料を洗い出し、リストを提供しました。授業者と学校司書による、学校での授業案検討に応じて、追加で資料を貸し出しました。

## 東特別支援学校の読み聞かせ会に行ってきました！



平成25年度から始まった東特別支援学校での読み聞かせ会への訪問。今年度も1月13日（水）は小学部、15日（金）は中学部を対象に、それぞれ行われました。参加者全員で声を合せて手遊びをしたり、お話の世界を楽しんだりしました。

### 読み聞かせ会プログラム

#### 小学部

- 1 読み聞かせ『もりのおふろ』  
西村敏雄/さく 福音館書店
- 2 手遊び「カレーライスのうた」
- 3 読み聞かせ『おおきなかぶ』ロシア民話  
A.トルストイ/再話 内田莉莎子/訳  
佐藤忠良/画 福音館書店

#### 中学部

- 1 読み聞かせ『おばけのてんぷら』  
せなけいこ/作・絵 ポプラ社
- 2 手遊び「おてぶしてぶし」
- 3 お話「干支のおこり」『日本の昔話1』より  
おざわとしお/再話 福音館書店

